

- ① 輝く日を仰(あお)ぐとき 月星眺(なが)むるとき
雷(いかずち)鳴り渡るとき 真(まこと)の御神(みかみ)を思う
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を
- ② 森にて鳥の音(ね)を聞き 聳(そび)ゆる山に登り
谷間の流の声に 真(まこと)の御神(みかみ)を思う
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を
- ③ 御神は世人を愛し 一人の御子を下し
世人の救いの為に 十字架に架(か)からせたり
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を
- ④ 天地(あめつち)造りし神は 人をも造り変えて
正しく清き魂(たましい) 持つ身とならしめ給(たま)う
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を

※次の第5節を収録しているのは、新聖歌、インマヌエル賛美歌、教会福音讃美歌のみです。

- ⑤ 間もなく主イエスは来(きた)り 我らを迎え給(たま)わん
いかなる喜びの日ぞ いかなる栄えの日ぞ
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を
我が霊(たま)いざ称(たた)えよ 大いなる御神を

【備考】

(1) 出典 <http://sanbika.la.coocan.jp/c021f.html>

(2) 1節から4節の歌詞は、下記讃美歌集・聖歌集で同じですが、4節の出処は不明です。

聖歌 480 番 輝く日を仰ぐ時

讃美歌第二編 161 番 輝く日を仰ぐ時

賛美歌 21 226 番 輝く日を仰ぐ時

新聖歌 21 番 輝く日を仰ぐ時

インマヌエル賛美歌 45 番 輝く日を仰ぐ時

教会福音讃美歌 21 番 輝く日を仰ぐとき